

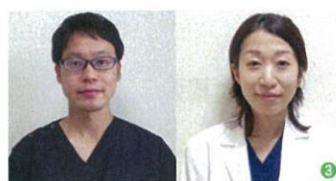
2021 年 8 月 ホームドクター2021 掲載

医療ガイド 函館中央病院



1930年の開設以来90年以上にわたり道南地域の基幹病院としての役割を担っている。総合周産期母子医療センター、北海道小児地域医療センター、北海道がん診療連携指定病院、小児がん連携病院(類型3)、臨床研修指定病院、日本医療機能評価機構認定病院

急性期・周産期医療の役割を担う チーム医療で安心の医療を提供



- ① 高度医療機器の導入や更新も積極的に行っている(写真は2020年4月に更新した血管撮影装置)
- ② 院内にはローソンやドールコーヒーがありアメニティも充実
- ③ 2021年4月に糖尿病・内分泌内科を開診。専門医2人体制で診療にあたる(写真左から高橋科長、小野医長)

。かけがえのない命と健康。を第一に尊重する。心ある医療。を基本理念とし、最先端の急性期医療、難度医療の実践に努めている。道南唯一の総合周産期母子医療センターとして24時間体制で母体搬送ならびに低出生体重児を受け入れており、道南圏のハイリスクの妊娠や出産、低出生体重児のケアを一手に担っている。また、道南圏における小児医療の中核的な医療機関と認められ、北海道小児地域医療センターに指定されている。

内科医による総合診療の実践、断らない医療。の実践、地域医療連携強化(総合医療支援センター設置)、市内2次救急輪番病院としての救急医療体制の充実など、地域での役割やニーズに応えるべくさまざまな体制整備に力を入れているほか、高度医療機器の新規導入や更新も積極的に行っている。

診療科は26科にのぼり、特に整形外科は脊椎、上肢、下肢、リウ

マチの各分野で最良かつ最先端の治療を実践するべく、経験豊富な専門医が在籍し、国内最大級の診療体制を整えている。

北海道がん診療連携指定病院でもある同病院は、抗がん剤治療など、がん治療を専門的に行う腫瘍内科を開設し、がん相談支援センターを設置するなど、がん患者の診療体制・サポート体制の充実を図っている。

2021年4月から糖尿病・内分泌内科を開診。糖尿病、内分泌疾患、肥満症に対して専門医2人体制で診断と治療にあたっている。

「当病院ができることが何なのか、当病院がやるべきことが何なのかを考え、地域住民の皆さまのみなさん、地域外の皆さまからも選んでいただける病院を目指し、函館中央病院なら間違いない。函館中央病院を受診してよかった」と言っていただけのように精進してまいります(本橋雅壽病院長)



病院長
本橋 雅壽氏

1983年北海道大学医学部卒業。日本心臓血管外科学会国際会員。心臓血管外科専門医・修練指導医。日本胸科学会評議員。日本外科学会専門医・指導医。医学博士

内科・糖尿病/内分泌内科・消化器内科・腫瘍内科・神経内科・循環器内科・小児科・外科・整形外科・消化器外科・乳腺外科・肛門外科・形成外科・脳神経外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・精神科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション科・歯科・口腔外科・病理診断科

社会福祉法人 函館厚生院

函館中央病院

☎0138-52-1231

函館市本町33-2

<http://www.chubyu.com/>

診療時間／
月～金 9:00～11:30 14:00～16:00
土曜 9:00～11:30
※各科・曜日より異なるため要事前確認
休診日／日曜・祝日・年末年始
最寄りアクセス／
市電中央病院停留場から徒歩1分